

プラスチック製容器包装(透明の袋)の分別ポイント

POINT 1



プラスチックごみの包装に  「プラマーク」があるか確認してください。あれば透明の袋に分別するごみです。

POINT 2



必ず中身を使い切り、汚れを取り除いてください。
残った汚れは水で軽くすすぐ、ふき取るなどして **容器を**
きれいにしてから出してください。(洗剤で洗う必要はありません。)

食品トレイなど
固形物を取り除く



カップ容器
固形物を取り除く



油や調味料のボトル
中身を使い切る



詰め替え容器など
中身を使い切る



【ごみの分別でもうひとつ大事なこと】

プラスチック製容器包装は、もとみやクリーンセンターの施設内で、作業員の手作業によりさらに選別されます。 **危険物** **汚れたプラスチック** **その他のゴミ** が混入している場合は1つ1つ取り除いています。特に **危険物** (かみそりなどの刃物)の混入は作業員のケガにもつながることから、透明の袋には入れないでください。



手作業で
異物を除去

危険物



汚れたプラスチック



二本松市・本宮市・大玉村
安達地方広域行政組合



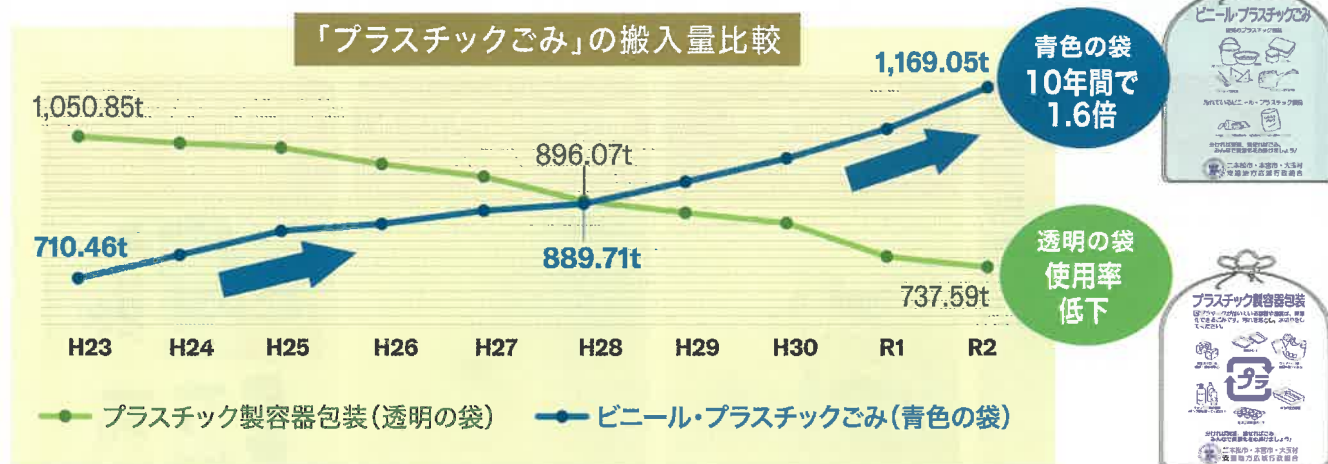
※こちらのQRコードからも
「ごみの分け方出し方」が
確認できます。

重要

安達地方広域行政組合から[ごみ処理]に関するお願い

ごみの資源化、減量化について

[もとみやクリーンセンター]に搬入されるごみは、約80%が「焼却ごみ」として搬入されています。このごみの焼却処理に伴い、「温室効果ガス(地球温暖化の要因)」が年間約3,400t-CO²排出されています。この温室効果ガスを減らすには、焼却ごみを減らすことが有効な方法の一つです。しかし、下のグラフのとおりプラスチック製容器包装(透明の袋)の使用率低下により、焼却ごみとして処理されるプラスチックごみは、この10年間増加傾向にあります。



適正に分別されたプラスチックごみは「再生利用」、「原料」、「エネルギー」となります。
資源として有効利用が進むということは、温室効果ガスの排出を抑えることにも有効です。
わたしたちのプラスチックごみの分別の心掛けがCO²排出削減にも繋がることをご理解いただき、日々のプラスチックごみの分別にぜひご協力をお願いいたします。

(透明の袋) プラスチック製容器包装

 プラマーク入りの袋や容器のほか、汚れを取り除いた食品トレイや発泡スチロール、プラ製スプーンなど



(青色の袋) ビニール・プラスチック

ビニール製品や水洗いしても汚れが落ちないプラごみ、ホース、他の材質と一緒にいるビニール類、プラスチック類などを入れてください。

